

平成23年行政事業レビューシート										(外務省)	
事業名		高度開発人材育成に必要な経費			担当部局庁		国際協力局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成22年度開始平成23年度終了(IDSプログラム) 平成23年度開始(新規プログラム)			担当課室		政策課			課長 鈴木 量博	
会計区分		一般会計			施策名		VI-1 経済協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第4条第1項			関係する計画、通知等		ODA大綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		我が国の政府開発援助を効果的かつ効率的に実施するには、援助に携わる人材、特に開発援助政策の企画・立案に加え、実際の援助プログラムの実施にあたり、計画・立案から終了後における評価までの一連の過程を知悉した室の高い援助人材の育成が重要である。本事業では、将来、現場において指導的な立場に立てる人材の育成を目指して、より高度で実践的な教育を行うことを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)		上記目的を達成するために、平成22年度から平成23年度まで、外務省委託事業として、財団法人国際開発高等教育機構(FASID)・政策研究大学院大学(GRIPS)の共同実施による大学院修士課程プログラム(IDS(International Development Studies)プログラム)を実施。なお、IDSプログラムは平成22年度入学生が卒業する平成23年度末を以て廃止し、平成23年度よりは、新たな高度開発人材育成事業を実施する。									
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	229	228	229	205	101			
			補正予算	—	—	—	—				
			繰越し等	—	—	—	—				
		計		229	228	229	205	101			
		執行額		215	228	223					
		執行率(%)		93.8%	99.8%	97.5%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (②は25年度)	
					成果実績	①名 ②%	①31名 ②—	①28名 ②—	①26名 ②—	①7名(注) ②50%	
		○成果指標 ・修士号取得卒業生の安定確保 ・プログラム卒業生の開発分野への就職 ※単位 ①修士号取得卒業生数 ②プログラム卒業生の開発分野就職率			達成度	(注)平成23年度まで実施していたプログラムは、日本の教育機関として唯一開発経済学専門の修士号を授与できるプログラムとして開始され、修士号取得卒業生を安定的に確保することに重きを置いていた。事業仕分けで「廃止」の決定を受け、右プログラムは平成23年度卒業生(7名)をもって終了したが、平成2年の開始以来、累計292名の卒業生を輩出できた。 一方、平成23年度より開始する新事業は、開発分野で指導的役割を担う高度開発人材を育成することを目指しているが、平成24年1月より開始予定で現在準備中。卒業生が出るのは早くとも平成25年以降であるため、現時点では実績を示すことは不可能。					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		IDS修士号取得者			活動実績 (当初見込み)	名	31	28	26	—	
単位当たりコスト		4.26百万円/人			算出根拠	年間コストの総額÷在籍学生数(22年度(21年度2年目及び22年度1年目) (230百万円÷54人)					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	委託費		204,786	101,011	事業見直し、単価見直し等による減額						
計		204,786	101,011								

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・状況・予算の	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、開発分野における人材の育成を目的としているため、広く一般国民を対象とするものではないが、同分野で将来指導的立場に立つことを目指す者には広く門戸を開いている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	開発学のコースを有する既存の大学が複数あることから、現行のIDSプログラムをゼロベースで見直し、平成23年度よりは新規事業（既存の大学のコースを補完する事業）を実施する。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	△	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年5月の事業仕分けの結果を踏まえ、本事業の見直しを図ったところ、現行のIDSプログラムは平成22年度に入学した学生が卒業する平成23年度末を以て廃止することを決定した（平成22年度事業としては、平成21年度入学生2年目及び平成22年度入学生1年目のIDSのコースを実施）。 なお、平成23年度よりは、全く新たな高度開発人材育成事業を実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		事業見直し、単価見直し等による減額	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減（事業見直し、単価見直し等による減額）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<事業仕分け第2弾> <事業番号/事業名> A-42/政府開発援助経済開発計画実施設計等委託費 <WGの評価結果> 事業の廃止 <とりまとめコメント> （国際開発指導者育成高等教育事業） 主なコメントとしては、当事業はすでに役割を終了したのではないかと、政策研究大学院大学（GRIPS）への支援についても、即そのままGRIPSに資金を渡すことは慎重に実施すべきではないかと、一般的な大学でも類似のプログラムを実施しているため、その点についても総合的に判断するべきではないかと、というものがあつた。このような意見を踏まえ、当WGとしては、事業の廃止を結論とする。			

※平成22年度実績を記入

外務省
223百万円



財団法人国際開発高等教育機構
223百万円
A 22年度入学者 140百万
B 21年度入学者 83百万

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.(財)国際開発高等教育機構			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	教員	68			
	借料	教室等借料	24			
	借料	備品等借料	6			
	研究費	教師研究費	5			
	広報	学生募集費	5			
	招聘費	講師招聘費	4			
	備品	OA/LANサポート	3			
	備品/印刷	資料購入・作成費	2			
	通信費	通信運搬費	1			
	管理費	管理費(10%)	12			
	税	消費税(5%)	7			
	計		137	計		0
	B.(財)国際開発高等教育機構			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	人件費	46			
	運営諸費	資料購入,教室借料,備品経費等	25			
	研究費	旅費等	1			
	管理費	管理費(10%)	7			
	税	消費税(5%)	4			
	計		83	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国際開発高等教育機構	「国際開発指導者育成高等教育事業」の企画運営(平成22年度入学	140	1	96%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国際開発高等教育機構	「国際開発指導者育成高等教育事業」の企画運営(平成21年度入学	83	1	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					